

「子育て環境“日本一”推進戦略」 事業費374億7,773万8,000円について

“田中しほ”の想い

内面でご紹介した主な事業をふくめ、現状の財源を
思うと374億7,773万8,000円を「少ない」と無責
任に批判することはできません。
その一方、当事者が活用しやすい制度なのか、本当
に役立つ仕組みなのか、実績が乏しいのに継続し
ている事業はないか、京都府が子育て政策の充実
をアピールするためだけの予算もあるのではないか、
精査して見直すべきことがたくさんあるのも事実です。
また、そのような精査・見直しは今回の予算案に賛成
した者の責務でもあります。
引き続き子育て当事者の実感を活かして事業の有
効性を確かめ、不要と判断した制度の費用を本当に
役立つ事業の予算に充てるといった改善案をまとめ、

次年度に向けた議論を積み重ねていきます。
あわせて次年度に子育て関連予算を拡充できるよう、
その財源確保に向けて、行政のムダを指摘して省く
声を皆さんと一緒に大きくしていきたいと思っています。
引き続きよろしくお願いいたします。

＼ 追 伸 ／

この5月に第二子を生みますが、産休・育休を
どうすればよいのか迷っています。議員としては
早急に現場復帰したいのですが、それが事例
になると出産適期の女性が政治を志す際の
壁になってしまうかもしれません。皆さんのアド
バイスをお待ちしています。

Shiho Press

田中しほ通信 Vol.04 May 2024

京都府議会〈下京区〉選出議員 田中しほ 府議会ニュース

発行日／2024年5月10日

田中しほ事務所 〒600-8267 京都市下京区御器屋町51-3（七条大宮上る西側1階）

Tel.070-8468-8865

この5月の“第2子”出産を 子育て支援の充実に向けた 政策立案に活かします!!



台風7号による被害復旧状況の調査
（舞鶴市桑飼上地区）



独立行政法人国立病院機構
舞鶴医療センターの視察



京都府北部の医師確保や
地域医療に関するヒアリング

洛央小学校・下京中学校・日吉ヶ丘高校を卒業し 二人の子を夫と育てながら豊園学区に暮らしています

Shiho Tanaka ● Profile

1994年下京区（豊園学区）生まれ（29歳）。京都カトリック信愛幼稚園、洛央小学校、
下京中学校、日吉ヶ丘高等学校を経て進んだ京都府医師会看護専門学校の卒業後、
新京都南病院に入職。集中治療室（ICU）看護師として勤務する一方、カンボジアの支
援活動、地域子ども食堂の運営に携わる。2022年11月に第一子、2024年5月に第二
子を出産。2児のママの実感を政策の立案・提言に活かす。



＼ ご意見・ご要望など、お気軽にご連絡ください ／

京都府議会〈下京区〉選出議員 〒600-8267 京都市下京区御器屋町51-3（七条大宮上る西側1階）
田中しほ事務所 Tel.070-8468-8865 Mail tanaka0721shiho333@yahoo.co.jp
公式X（エックス：旧ツイッター） @ishin_tanaka_s

京都府議会議員として1年が経ちました。それ
は広域行政の視点から各市町村を後方支援
する役割、京都の歴史と伝統文化を未来に
繋いでいく役割、政策や行政の変化・改革を
提言する役割、これらを担う責任の重さと向き
あう1年でもありました。

さらに私自身、この「田中しほ通信〈Shiho
Press〉第4号」が皆さんのお手許に届く5月
に第2子を出産しており、0歳児と1歳児を抱
えて右往左往する経験を、子育て支援の充実
に向けた政策の立案・提言に活かしたい気持

ちも強まる一方です。

そのような思いもあり、今回は令和6年度
（2024年度）京都府当初予算に掲げられた
「子育て環境“日本一”推進戦略」の主な事
業費をご紹介しますことにしました。

それぞれの政策に求められる“当事者の利用
しやすさ”をふくめてチェックいただき、ご意見
ご要望を“田中しほ”へお寄せください。子
育ての楽しさと苦勞のどちらも知る者としての
“共感”を込め、皆さんのリアルな声を議会に
届けさせていただきます。

能登半島地震への対応について

「石川県令和6年能登半島地震災害義援金」口座へ
2024年3月29日、日本維新の会・京都府議会議員団
が身を切る改革によって生み出した財源から600万
円を寄付させていただきました。ご報告申し上げます。

なお京都府も飲料水をはじめとする備蓄物資の提
供、石川県庁や避難所への職員派遣、京都府警察
隊員の派遣、緊急消防援助隊員（京都府大隊）派
遣などを実施しており、あわせてご報告いたします。

「子育て環境“日本一”推進戦略」

事業費総額

374億7,773万8,000円

今年2月の定例会に西脇知事から「令和6年度（2024年度）京都府当初予算案」が提出され、私たち国民民主党・日本維新の会京都府議会議員団をふくむ賛成多数により可決されました（3月22日）。

そこには「子育て環境“日本一”推進戦略」事業費「374億7,773万8,000円」がふくまれており、その分配は①子育てが楽しい風土づくり「1億6,240万6,000円」、②子どもと育つ地域・まちづくり「2億9,821万4,000円」、③若者の希望が叶う環境づくり「5億4,903万2,000円」、④すべての子どもの幸せづくり「69億9,856万3,000円」、⑤その他「294億6,952万3,000円」です。

予算案に賛成した“田中しほ”ではありますが、事業の有益性を皆さんと一緒に注視する必要性を強く感じています。なかでも特に有益性を高めたい「すべての子どもの幸せづくり」からピックアップした7つの事業について、予算用途を概説させていただきます。

ご意見を“田中しほ”までお寄せください。

皆さんと一緒に注視し
有益性を高めたい事業を
以下ご紹介します



1 私立高等学校あんしん修学支援事業の拡充

予算 34億2,673万6,000円

京都府内に暮らす世帯の子どもが府内の私立高校に通う場合、その就学費用を支援するための予算。今回、支援額や対象（年収区分）が拡充されています。

*詳しくは「京都府私立高校あんしん修学支援」で検索ください。

2 医療的ケア児支援体制強化事業

予算 100万円

医療的ケアが必要な児童や家族が地域で安心して暮らせるよう、支援体制の強化検討会を各エリアで開催するための予算です。

3 京都の医療従事者が永年の悲願としてきた ドナルド・マクドナルド・ハウス京都 整備応援事業

予算 3億円

病気と向きあう子どもに付き添う家族の滞在施設「ドナルド・マクドナルド・ハウス京都」。府立医科大学附属病院、京都大学医学部附属病院、ドナルド・マクドナルド・ハウス財団が連携する同施設の整備には4億円の寄付が必要（総費用8億円）。2026年秋の開設に向けて京都府も応援の費用を予算化、寄付を募る活動の一助になることをめざします。



ご寄付については
右のサイトをご覧ください



4 発達障害者支援整備事業

予算 900万円

「発達障害かも」と思っても専門医は少なく、早々の診察が難しい。こうした現状を解消するための予算。専門医と“かかりつけ医”が連携する仕組みづくりの検討に充当されます。

5 親子誰でも通園 モデル事業

予算 1,500万円

保育所等で子どもだけでなく、“親の通園”も受け入れる「親子誰でも通園」のための予算。これは“子育て”と“親育ち”を支援する全国初の取り組みでもあります。

6 未入园児 一時保育事業

予算 3,600万円

在宅で育児中の親が保育所等に登録、子育て情報を得ることに加え、育児教室や親同士の交流会などに参加できるよう、乳幼児の一時預かりを実施するための予算です。

7 2歳児子育て支援事業の拡充

予算 7,600万円

2歳児の保育所費用を支援する制度にあった多子世帯等々の条件を見直し、幅広い世帯の第1子も対象とするための予算です。

